

第2回

詰四会作品展

完全バージョン

担当 来島直也

たくぼん

◇ 解答者総数 58名

◇ 全題正解者 49名

誤無 A B C 平均

①伊達 悠 1 0 6 38 12 1.89

②小峰耕希 4 1 19 28 4 2.29

③信行寺持光 0 1 10 33 13 1.95

④来島直也 4 1 25 20 7 2.35

(注) 本稿は、詰バラに掲載されたものを加筆し、全短評も掲載しました。折角書いて頂いた短評がそのまま死蔵してももったいないですので詰バラ編集部のご了解を得て完全バージョンということで作成しました。なおイージーミス誤

解者の評も実名で掲載させて頂いております誤り承下さい。

ご了承いただけない場合は御面倒ですが連絡頂ければ削除いたしますのでよろしくお願いします。

☆…詰バラ掲載のくるぼん筆。

★…今回加筆した私の筆。

「\*」…短評者上の\*印は誤解を意味しております。

詰バラ出題：平成19年4月号  
解答発表：平成19年7月号

☆ 前回と比較して解答者数は

ほぼ二倍になったものの、評価は対決どころか大変厳しいものになってしまいました。

☆ 今にして思うと、変な課題にしてしまったと反省してもすでに手遅れ。

【課題】 囲い図式

① 入選 4回

岡山市 伊達 悠

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				と	駒	駒	王	王
					駒	駒	銀	銀
					歩			
						桂	銀	桂

持駒 歩

23 桂右生、同飛、同桂生、22玉、11角、23玉、33角成、同玉、11角、22飛、43飛、32玉、41飛成、23玉、24歩、33玉、43龍 迄11手

☆ まずは、大駒4枚の豪華な穴熊でご機嫌を伺います。

弘光弘一実戦ではまずお目にかかれないうい

名越健将—スラスラ進むのは良いが、初手と終手が非限定なのは弱い。こんな囲いは見たこと

ない！

宮本慎一—11角の利きがスゴイ加賀孝志—実戦形にはほど遠い穴熊。手順に面白味を感じられない。

神谷薫—面白い発想だかこの収束では一発芸で終わっていると思う。

田辺尚弥—ユニークさを買います。評価はまた別。

野口賢治—原始の石垣島。今川健一—拍子抜けするほど易しい？ホントですね。

☆ ほの字—これだけは確かに易しい

☆ どこかの悪いオジサンの出来るだけ易しい作品をとの甘言に乗って、習作を出してしまった伊達君。次回は名誉挽回を狙いましょう。

遊星人—思わず笑える滑稽作。これぞ囲いの最高作品。

秋元節三—大駒4枚鉄壁の構えの

はずだったが

天津包子―持駒歩が少し残念

岩田茂―実戦ではありえない穴熊。

大駒の切った張ったを期待した

が、消えるのは結局1枚だけで

ちよつと拍子抜け。

かい賊―相手を攻める気が全くな

さそうな囲いだ。

柿久桂古―桂で密集型を崩し大駒

で仕上げる。

加藤清隆―玉に戻さない11

角が急所の一手

多い。収束が駄目。

佐藤司―金無し穴熊はやはり脆か

った。

真保千秋―一気に殺到してあつけ

なし

須川卓二―こんな囲いは実際見た

こと無いぞ

高橋達也―大駒4枚の穴熊はそ

う強固ではなかった。

竹中歩美―32飛さえいなければ

詰まないのになあ

千葉肇―どどん駒を貯めていけ

ば、窮地に陥る。41飛成が盲点。

千葉等―素直な作品で好感持てる。

利波偉―これを囲いと主張すると

は、伊達氏の指棋力は級位者と

思われます。将棋の入門書を読

んで、囲いについて勉強しな

しましょう。何？指将棋はどう

でも良いって？でも詰将棋とし

ても初手の非限定やら駒取りや

ら手順は一本道やらで面白くな

いのですが

★ いやいや「囲い」ではなくて

「囲っている」だけですから。

中沢照夫―これは穴熊とは言えな

いのでは？

中嶋智志―少し地味な印象

原岡望―確かに易しい

早川清一―構造的に難しい駒のレ

イアウト。しかし1手目からス

ムーズ手順で一安心。玉の受手

が難しい

原田清美―残念ながらこれでは詰

む将棋でしょう

坂東仁市―初形象形でもない限り

評価できません

凡骨生―飛角4枚に守られた穴熊

攻略だが終盤にもう一手ほしい。

安原嗣治―紛れの無いのが取得

10手目移動合での延命がポイ

ント

和田登―密集が解れるさまは心地

よい

★ うゝむ。酷評の嵐だ。初形をユ

ニークと受け取ってくれる解答

者の少ないこと(悲)。詰四会は、

これまでの地方会合作品展とは

ちよつと変わったことをしてい

こうとしているのでこんなこと

ではヘコタレナイズ。しかしこ

れが入選というのはちよつと拙

かったかもしれない。

② 入選5回

岩手県 小峰耕希

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
皇	科		丕					
	王	醜		龍	飛			
采	采	采						
				角		醜		
				歩				
							馬	
香								

持駒 銀桂

72 龍、同金、71銀、同玉、

63 桂、61玉、52銀、62玉、

44角、同銀、43銀生、63玉、

52 飛成、74玉、64馬、同玉、

54 龍 迄17手

☆ 続いては、パラ一の毒舌解答者

の美濃囲いをどうぞ。

天津包子―初手73角成かと思っ

た

加藤清隆―実戦ならまず73角成

りか52銀、44角は見慣れない

筋で難しかった。

利波偉—古色蒼然たる作品で、本  
当に実戦的な作品ですねえ。

早川清—詰図に興味津々。形が  
よいかから手順は読みやすく明快  
である。

神谷薫—筋は通したが配置が広が  
ってしまったか。いかにも若い  
(違います?)作者という気がす  
る。

★ 若いのは間違いないです。  
ほの字—早過ぎる44角はとって  
くれない

原雅彦—駒の効率が悪いのかな。  
でも64馬を見せられて納得。

中嶋智志—キレイに収束が決まる  
と印象が良くなる。

☆ 44角が手順前後が効かず、最  
後が大駒捨てで決まっているこ  
ともあり比較的高評価で迎えら  
れました。

秋元節三—物量の差で圧勝のはず  
だったが

今川健一—これも拍子抜け。多少  
①よりましかな。

岩田茂—97香をどう使うかが解  
図のポイント  
かい賊—44角が小粋

加賀孝志—あまりにも攻めが強力  
すぎて感銘がウスイ。力でねじ  
伏せる感じ。  
柿久桂古—見事な実戦型も大駒4  
枚に囲まれては

佐藤司—美濃囲いの堅陣も大駒  
4枚の前にはたじ

真保千秋—44角からが工夫のあ  
るところ

須川卓二—75と以外は実戦にあ  
りそうな形ですね。35銀は苦し  
い配置

高橋達也—ゴツゴツした手順がま  
さに実戦形  
竹中歩美—52銀が打ちづらい手  
ですね

田辺尚弥—72飛成ではなく72竜

ですか。まいました  
千葉肇—73角成りと消去するも  
のと思っていた。やや大時代風。

千葉等—52銀打から44角捨での  
陣が旨い。

中沢照夫—角捨てが入って詰将棋  
らしくなった。  
名越健将—美濃VS大駒4枚。52  
銀がやり辛い。

野口賢治—44角だけでは。  
原岡望—角が邪魔とは  
原田清美—条件のためとはいえ初  
手もつたいたいような

\*坂東仁市—構想色の強い邪魔駒  
消去に感心

弘光弘—44角く43銀生がうまい  
手

凡骨生—飛角4枚で堅固な美濃囲  
いを攻め落とす。実戦からの取  
材?

宮本慎一—美濃囲いくずしで上部  
に玉をおびきよせ竜と馬の連携

遊星人—攻め方が強力すぎて返っ  
て迷う。75とが惜しいね

和田登—正に実戦の終盤。序盤は  
参考になる

★ きれいな美濃囲いで実戦の手  
順。そして52銀や44角、64馬  
捨てと詰将棋らしい順も入り及  
第点でしょう。52は超えまし  
たので入選で問題なし。

ちなみに75とを金にすると7  
手目より41飛成以下15手の早  
詰が生じます。

作者は加登屋氏と並んで辛口解  
答者として有名?だが、ネット

上で開催された森茂追悼作品展  
では担当を務められ、丁寧で分

かりやすい解説で絶賛を浴びた。  
今後のますますの活躍を期待し  
たい。

本作に対する加登屋氏の短評が  
なかったのは残念。



宮本慎一—43銀の拠点は大きい  
遊星人—大英断の竜切りが売り

★ 実戦型初形に実戦的な手順で  
いいじゃないですか。えっ平  
均点が1点台だって、うゝむ。

④ 入選12回

松山市 来島直也

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					歩			
		角				銀	王	
		銀	飛				桂	香
					金			

持駒 銀

- 37 銀、29 玉、39 金、同玉、
- 28 銀、49 玉、38 銀、59 玉、
- 63 飛成、48 玉、68 龍、58 歩、
- 66 角、① 38 玉、58 龍、29 玉、
- 49 龍、28 玉、39 龍、27 玉、
- 28 歩、26 玉、44 角、25 玉、
- 35 龍 迄 25 手

☆ トリは美濃囲いのはず……。

★ ラストはくるぼんの裏美濃囲い。昔、宿利さんだったか発表された気もするが余り見ない形です。今回の課題は本作があるので「囲い」と決まったといういきさつがあります。

中嶋智志—良く見る四間飛車の基本形。1ヶ所だけ違うけど。

凡骨生—無防備で裸の王様(裸玉ではない)だい

かい賊—大変です。王様が敵に寝返りましたっ！ で？

☆ 冷静に言われてもねえ。  
須川卓一—どうやって玉がここま

で来たか。先手の陣形はまだ序盤だよな。

飯山修—実戦でどうやってこの局面になったのかを推定 A 対

戦中に地震があり双方の玉がひっくり返ったのでそのまま続け

た。B ついてて将棋で合法的な

手が続き入玉できた。C キルケ

将棋(そんなのあるのか?)で駒が還元されてこうなった。

☆ さて真相はいかに?  
☆ 手順も紛れも無く易しいと思

われましたが、  
真保千秋—48玉で手が止まる

高橋達也—7色崩れ無防備玉。序から軽快に進むも10手目48玉で

不詰感に襲われました。  
千葉等—9手目69飛を考え一苦

労  
原岡望—ここで詰むとは!?

ほの字—58桂合としたところ  
☆ 意外と考えるとところがあつた

とは思いませんでした。なお、  
78 銀は、これがないと、①のと

ころで 57 合が変長になってしま

まうため無念の配置でした。  
秋元節三—7色無防備ならまだ救

われたが  
小峰耕希—いつもの切れ味が無い

のが寂しい所

☆ そんなものは、もとからありません(涙)。

天津包子—57桂合で一瞬ヒヤツとした

☆ 57桂合は同龍、38玉、48龍  
以下

天野邪空—囲い図式とは真逆の無防備図式

今川健一—最後までいいはと期待したが、これも拍子抜け。

岩田茂—無任掛けの実戦型は珍しい。手順も淡泊。

加賀孝志—ありえない形。今回のテーマ一寸詰棋的味不足あまり

面白いテーマではなかった。  
柿久桂古—入玉実戦型は珍しい。

それにしてもうまくまとめた。  
加藤清隆—美濃囲いにいるのは敵

の王様しかし速捕するには意外と手数がかかる。

\*佐藤司—それにしてもこの玉ど

うやつて入玉したんだろ

竹中歩美—これは面白い形! 実戦ではまず見られない

田辺尚弥—美濃屋敷に単独侵入とは敵玉ながらあつぱれ。

千葉肇—48玉であきらめかける。

57歩合いで不詰。

利波偉—この形も初めてじゃないから、そんなに意外ではない。

手順も何となく詰む感じで今ひとつ。

中沢照夫—これは実戦ではありえない形。発想がユニーク

名越健将—自陣美濃。長手数でも詰め易い。

野口賢治—錯覚しそうなほどきれいな初形は観賞用にした

原雅彦—この順で詰むとは58歩合辺りでは思いもなかった。

早川清—攻め側に入りこんだ王様一人。安い駒はいないので逃げと合駒に専念するのが複雑な

心理に一貫する。

原田清美—59まで行って25で詰むとは意外

坂東仁市—75角消しとか何か伏線とか欲しい

弘光弘—3手目の金捨てが力強い宮本慎—合駒の歩と竜、角のトリオで詰ます

\*安原嗣治—可笑しい遊星人—我俣な王様にも困るよ。

取り柄は有るもので、優しい。

和田登—一瞬安泰の美濃囲いに見えたが、敵玉でした。面白い初形。

★ さすがに連続桂合は入れられなかったか。

◇総評&次回予告

秋元節三—出品者の苦勞が感じられるだけにC評価はつらい

利波偉—悪いけど落選級の作品ばかりだと思った。

竹中歩美—こういう特集は実戦の

参考になりますね

☆ ありがとうございます。遊星人—詰四会も宮崎県並の人氣が欲しいですね。協力が出来るなら、何でもお引き受けしますよ。

☆ 愛を下さい(笑)。いや、作品をお願いします。

天津包子—実戦は弱いので難しい課題でした

今川健—酷評ばかりでご免。

岡崎行晃—④は抜群の首位作です

ベテランの来島先生いつまでもお元気で

加賀孝志—おかげさま解答で六段位取りました。次は一万点で七段が目標ありがとうございます

た

加藤清隆—拍子抜けするほど易しいのは①と③。②ハかなり難しい④は難しくはなかったが多少の変化紛れがある

佐藤司—囲い図式の創作は難しい

のでしょかとかかく解答者にとつて楽だったのは事実です。

暫くは参加者が少ないでしょうが、「継続は力なり」この言葉をモットーに続けてください。

中沢照夫—詰パラの入選レベルに達しているのは④のみでしょう。

ヤン詰兼ね合いもありますから採用基準をある程度厳しくする必要がありますのでは

☆ 次回第3回詰四会は8月19日松山市で開催予定。課題は「清くて涼しい詰将棋」です。基本的に清涼詰を募集しますが、涼しげな詰上りなら詰上り3枚になっても不問とします。

☆ 今月は全国大会。皆様詰四会をヨロシク。

★ 第1回作品展では「難しすぎる」と多くの人に言われ、今回は、「イマイチ」と言われ作

品展開催って難しい〜。  
ただ解答者数は前回より25  
名も増えてよかった。

★  
さすがに今回は課題に負けて  
しまった感がありありで申し  
訳ない次第。

第1回作品展が不参加だつ  
た来島氏登場が第1条件で  
あったため、彼の在庫の中  
の作品(出題作)より課題を決  
めたという逆算手法(詰四会  
恒例となりそう)で開催しま  
した。その為、残り3作を集  
めるのが大変で、第2回会合  
席上で何とか2作集め、最後  
に小峰氏より投稿があり、ギ  
リギリ集まったというのが実  
状です。

メンバーもまだまだ少ない状  
況です。今後も苦労するこ  
とは見えています。1歩  
1歩少しずつでも前に進ん

でいければと思っております。  
四国在住の皆さんの会合への  
ご参加心よりお待ちしております。  
ます。

【全題正解者】

秋元節三 天津包子 天野邪空  
飯山 修 市川樹生 今川健一  
岩田 茂 大下 進 岡崎行晃  
かい賊 加賀孝志 柿久桂古  
加藤清隆 神谷 薫 北谷明子  
日下通博 久保博一 國吉 進  
小峰耕希 真保千秋 須川卓二  
関末凱康 高沢武夫 高橋達也  
竹中歩美 田辺尚弥 千葉 肇  
千葉 等 利波 偉 中沢照夫  
中嶋智志 名越健将 野口賢治  
原 雅彦 原岡 望 早川清一  
原田清美 弘光 弘 福村 努  
藤川 薫 ほの字 凡骨生  
南石信雄 宮本慎一 三宅周治  
毛内敏雄 森田進二 遊星人  
和田 登

【3題正解者】

佐藤 司 出崎 守 野山知敬  
林八江子 坂東仁市 松本光雄

【2題正解者】

安原嗣治

【1題正解者】

市原 誠

【当選者】誌代1ヶ月文入帖

飯山 修 ほの字